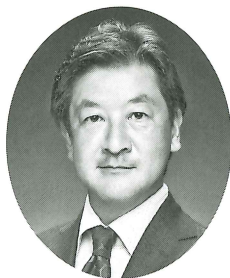




出版クラブ会報 No.609



出版クラブは

人と人との出会いの場

日本出版クラブ会長

野間 省伸

(のま・よしのぶ)

あげましておめでとうござ
います。

今年で出版クラブは、神楽
坂から神保町に移転して、4
年目になります。皆様のご支
援に感謝申し上げます。

緊急事態宣言が解除され、
コロナの新規感染者が減り続
けた10月後半からは、クラブ
も活気を取り戻してきまし
た。半年ぶり、1年ぶりのリ
アルな会合に参加する皆様
うれしそうな表情は忘れるこ
とができません。出版という
仕事においては、直接顔を合
わせるリアルなコミュニケーション
が大切であることを改めて痛
感しました。私たちの仕事
では、対面で話し合い知
恵を絞るなから、次の企画

が生まれるのではないでしょ
うか。
新ビルの開館以来、3階ク
ラブライブラリーを舞台とし
た企画展「小さな本の展覧会」
は10回目を迎えることができ
ました。今年はずでに年末ま
での企画がすべて決まってお
り、認知度が上がってきたと
感じております。

私たちが気づいたこと忘
れたくないこと」では、世界
中で感染症が広がるなか、読
書のあり方を考え直す展示を
行いました。残念ながら想定
以上に緊急事態宣言が続いた
ので、リアルでご覧いただい
た方は少ないと思いますが、
ホームページ内にVR動画も

使った特設サイトをつくりま
した。出版クラブの発信力を
高めるためにも、今後ともデ
ジタルを使ったプロモーション
を強化していきたいと考え
ております。

昨年、第60回という記念す
べき年を迎えた全出版人大会
は5月7日に開催することが
できました。会場をいつもの
ホテルニューオータニから出
版クラブビル3階ホールに変
更し、出席者数を最小限に抑
え、懇親パーティは開催しま
せんでした。そのような状況
下において、村上和夫大会委
員長はじめ、ご出席いただい
た皆様には心から感謝申し上
げます。

今年5月13日(金)の開

主な記事

- ▽2022年 新年名刺交換会団体代表ご挨拶……………1〜5
- 野間 省伸・小野寺 優・堀内 丸恵・平林 彰・矢幡 秀治……………六十八
- ▽新春紙上名刺交換……………六十八
- ▽〈出版歳時記〉図書館は民主主義の砦……………十八

催を予定しています。大会委
員長はポプラ社の千葉均社長
にお引き受けいただきまし
た。出版界のさまざまな課題
解決を目指すべく、有意義な
大会にしたいと考えていま
す。皆様のご協力をよろしく
お願いいたします。

昨年秋に予定していた出版
平和堂出版功労者顕彰会は参
列者の健康を配慮し、中止と
いたしました。ただし、新頭
彰者10名の方々の記銘板は大
坪嘉春出版平和堂委員会委員
長、筑紫恒男副委員長、風間
敬子副委員長に箱根まで足を
お運びいただき、設置するこ
とができました。なお、平和
堂の360度写真真ビューを出
版平和堂のホームページにア
ップしてあります。最新の姿を
ネット経由で是非ご覧ください
い。

それでは会館の営業状況を
ご報告いたします。2021
年度上期4月〜9月の会議利
用件数は対前年比194%、
利用者数は134%とコロナ
禍にかかわらず、大きく回復
しました。

リアルでの出席者は最小限

に絞り、他のメンバーはリモ
ート参加という「リアル」と
「デジタル」の融合、いわゆ
る「ハイブリッド型」の会議
が増えたのが特徴です。

また、セミナー開催はクラ
ブ事業の柱の一つですが、最
近は「オンラインセミナー」
を実施しています。11月に開
催した「洋書の森」セミナー
では140名が参加。海外か
らの受講者もいて、デジタル
ならではの拡散力を実感しま
した。

出版業界には、流通改革、
著作権の改正、海賊版対策な
ど問題が山積しています。ど
れも個社の努力だけでは解決
しきれない大きなテーマで
す。「出版界の総親和」とい
う理念のもと、出版クラブと
してもこうした課題に取り組
んで参りたいと存じます。

昨年12月から出版クラブビ
ル1階に神保町のウナギの老
舗「なかや蒲焼店」に入っ
てもらっています。昼・夜はも
ちろん、午後の時間帯にはカ
フェタイム営業も検討中との
こと。出版クラブビルにどう
ぞお気軽にお越しください。
今年には人と人との出会いの場
というクラブの役割を、より
いっそう意識していきたいと
思います。

本年も皆様のご協力のほ
ど、何卒よろしく願ひ申し
上げます。

(講談社社長)

「登る」山から「眺める」山へ

押鐘 富士雄

青春時代とシニア時代、かなりの山に登った。三千メートル級の山小屋泊はベテランと、日帰り登山は女房と。もうひとつの楽しみは南の島々を訪れ、その島の最高峰に登ることである。奄美大島湯湾岳、沖永良部島大山、石垣島於茂岳、西表島古見岳、宮古島野原岳、与那国島宇部良岳など。

(三笠書房名誉社主顧問)

記憶の量感

芹澤 克明

最近、スマホを駆使している女子高生が分厚いシステム手帳を持つている、という話を聞いた。システム手帳には友達とのプリクラ写真や最新のスイーツ情報、お店情報が沢山貼られているらしい。おそらくこれは自分の記憶の量感を、重さや厚さに置き換えて、心の豊かさを感じているのだろう。多くの記憶がギガやメガという単位で記録される世界、人間が幸福でいられる記憶の量は毎年の手帳の中ぐらいいで丁度よいかもれない。

(学校図書代表取締役社長)

読解力と表現力

設楽 敬一

あけましておめでとうございませう。コロナの脅威は、依然として続いています。子どもたちの学びは、主体的・対話的で深い学びや、GIGAスクール構想により、大きく変わっています。学校図書館には、自立した読者を育てる読解力の指導や、考えを的確に伝える表現力の指導に欠かせない多様な資料を用いて、学習者主体の学びを育んできました。今後、紙に加えて電子資料等を活用した学びの支援も学校図書館の重要な使命です。

(全国学校図書館協議会理事長)

年頭所感

渡辺 政信

皆様のお力添えでJPOは昨年から今年とさらに飛躍して参ります。JPROに情報登録する出版社は2200社を超え、定期雑誌の登録もスタート。一般読者向けサイトBooksもリニューアルし、電子、オンデマンド、オーディオブック等も探索可能となりました。一方、出版社と書店の連携強化のため、書店マスタの活用促進、コロナでお預けになっていたBookSPROの書店への説明行脚にも取り組みます。引き続きご注目いただければ幸いです。

(日本出版インフラセンター専務理事)

年頭にあたり

山根 毅

新年あけましておめでとうございませう。『週刊税務通信』は本年も、実務家の皆様のお役に立てるよう務めてまいります。消費税込インボイス制度の本格化、コロナ禍を受けての各種税制見直し、東京証券取引所の再編など、新しい局面を迎える国税並びに会計制度の動向を、正確、迅速、的確に情報配信いたします。

本年もどうぞよろしくお願いたします。 (税務研究会代表取締役社長)

2022年頭所感

田中 真文

明けましておめでとうございませう。出版各社に置かれましては、日頃より組合員が大変お世話になり感謝申し上げます。昨年来コロナ禍で厳しい中、業界新ビジョンの推進により、生き残りを図っておるところですが、受注の減少と資材等の値上がりにより、各社とも大変厳しい状況下にあります。本年は組合員各社が、お得意先にお願い上がる場面も出てくるかと存じますが、業況のご理解をお願いし、新年のご挨拶といたします。

(全日本製本工業組合連合会会長)

持続可能な社会の実現

小田 良次

明けましておめでとうございませう。この2年間、コロナ禍に明け暮れる中、つくづく「持続可能な社会の実現」の重要性を痛感致しました。学校現場ではデジタル化の進行とともにオンライン授業化も一気に進みましたが、一部に弊害も生じています。新しい教育の方向性を見定め、SDGsの視点も取り入れた出版事業を進めてゆく中で「未来の教育を切り開き、持続可能な社会の実現に貢献していきたい」と考えているところです。

(実教出版代表取締役社長)

新しい印刷産業への挑戦

滝澤 光正

新年おめでとうございませう。コロナウイルスとの闘いはこれからも続きますが、本年はこの未曾有の環境の中、印刷産業のさらなる生産性向上と高付加価値サービス提供産業への転換に踏み出し、「新しい印刷産業」のしなやかさと強さを、そして持続的発展を実現する年にしてまいります。出版業界の良きパートナーとして、今まで以上に協力になれるよう努力を重ね、この一年が出版・印刷両業界にとって実り多き年となることを祈念いたします。

(東京都印刷工業組合理事長)

未来のためのコスト

千葉 均

持続可能な社会を目指すとは、持続可能な未来のために必要なコストを惜しまないことであろう。同じ品質なら安いものを選ぶという選択基準を捨てて、未来のために良いものを選ぶという選択基準を採ることである。たとえば、生産者が持続可能である農産物価格や、環境を破壊しないクリーンエネルギーの高い電気代を喜んで負担することである。そして、未来を担う子どもの健康や学びにかかる費用を惜しまないことである。

(ポプラ社代表取締役社長)

ウィズコロナと進化

寺川 光男

ウィルスは健康を脅かす「敵」としての側面ばかりでなく、「生物進化」に重要な関わりを担ってきたというのがウィルス進化論です。私たちと社会もまた大きな変化変容が求められています。この変化の時代にあたり存在意義とめざす姿を以下の言葉に集約します。(ミッシェン)わたしたちはITを通じてお客様に新しい価値を提供しお客様の成長を支え文化の発展に貢献します(ビジョン)出版業界で最も信頼されるITプロフェッショナル集団へ! 本年もご指導の程、宜しくお願申し上げます。(光和コンピュータ代表取締役)

年頭所感

大橋 祥宏

わが横須賀の終戦間ぎわの基地司令官デッカー少将は学校6、大病院2、企業誘致200などで復興に力を貸したが、その自伝記・大冊を10年前にわれらグループで翻訳・出版。昨年4月、その展覧会を市長、商工会議所会頭とコロナに負けるなど開催。本に関わる人生も86歳になったが、出版クラブ時代の追憶に春秋の政府叙勲が桜だ菊だ、で他業界人との交流が生まれた喜びがかなりあった。文化庁も出版人を理解してくれた。

(日本出版クラブ元専務理事)

この1冊が未来をつくる

山田 陽一

「この1冊が未来をつくる」社長以下、ベテラン社員や新人、役職や年齢に関係なく、全員で候補を挙げ、投票によって選ばれた当社のスローガンです。出版する図書により子どもたちに健全な知識を与え、良質な感性を育みたい。そして自由・平等を尊び、個性が尊重される未来を作っていきたい。そんな壮大で無謀な夢に一步でも近づけるよう、今年も社員一同、次の1冊に全力を注ぎます。本年も宜しくお願い申し上げます。

(岩崎書店取締役セールスプロモーション部長)

言葉の力

萩本 直樹

昨年は、日蓮大聖人の御聖誕800年の慶祝の意義を留め「日蓮大聖人御書全集 新版」を発刊することができた。印刷・製本会社、取次会社、書店様をはじめ、携わって頂いた皆様により感謝申し上げます。御書全集に綴られた励ましの言葉は、21世紀の現代社会においても、私たちにとって希望の糧となり、人生勝利の羅針盤となっている。改めて、言葉が持つ力を感ぜずにはいられない。「勇気」と「希望」を贈る言葉で人間主義の社会を構築していきたい。

(聖教新聞社代表理事)

年頭所感

市村 友一

明けましておめでとうございませう。昨年6月、朝日新聞出版の社長に就任しました。コロナ禍でご挨拶できていない方が多く、心苦しく思っております。ただ、コロナにも功績あり、禁煙に成功しました。煙草を控えていても、つい口にしてしまうのが酒の席。それがコロナでパツタリなくなりました。酒席復活でも誘惑に負けずいられるか。今年には勝負の年になりそうです。

(朝日新聞出版代表取締役社長)

広がる教育格差

宮原 博昭

あけましておめでとうございませう。昨年の学力テストの結果、家庭における蔵書数により、算数で18ポイント、中学国語で15ポイントも差が出た。やはり本の力、読書の力は明白だ。TVが出た時の無思考化説も、ネットの時代の信頼性の欠如も、やはり「出版の力」をあぶり出して支えてくれる。なにに広がる所得差、地域差による教育格差。本を買えない家庭には図書館がある。それでも広がる教育格差をコロナ後の今年は無くして行きたい。

(学研HD代表取締役社長)

年頭所感

喜入 冬子

新年あけましておめでとうございませう。新型コロナウィルスのオミクロン株の流行が年明けにどのような状態になっているのか全く分かりませんが、彼らの変容ぶりに負けないようこちらも柔軟に、本を読者に届ける活動を様々工夫しながらやってゆきたいと思っています。本というかたちにパッケージ化された分厚い情報のメリットを、手を変え品を変え宣伝し、実感してもらえようように努めたいと考えます。良い年になりますように。

(筑摩書房代表取締役社長)

年頭所感

鈴木 宣幸

2022年は、改正著作権法関連の動きがとて慌ただしい。授業目的の公衆送信補償金等管理協会は本格始動するし、図書館等公衆送信サービスの目処もつけなくてはならない。さらにDX時代における著作権処理の簡素で一元的なしくみを策定せよとの答申が出ている。着任早すべてが待ったなし。なにより著作権者と出版社が不利益にならないことが第一だと、胆に銘じている。

(日本雑誌協会専務理事)

読書推進の新たな星

樋口 清一

昨年十二月八日に、スペイン・バルセロナのサグラダ・ファミリア教会で聖母マリアの塔が完成し、頂上に高さ5トンのベツレヘムの星が輝いたとのニュースを見た。思えば、一九九六年四月、国際出版連合の大会が当地で開催され、サン・ジョルディの日の賑わいを目の当たりにしたことを昨日のこのように思い出した。新型ウィルスの変異株も心配される場所であるが、今年も日本でも読書推進の新しい星が輝くことを願ってやまない。

(日本書籍出版協会専務理事・事務局長)

一通の便りから

北脇 信夫

地方に居を移して2年になる友人から便りが。豊かな自然と時間に恵まれている喜びと共に、本に出合う機会が激減した悲嘆と、県庁のある街ですら個店さんが消えていく悲しみに触れられたことも、近くの中学で読書会を開き、本が縁の知己が増えていく喜びが記されていた。本は知識や娯楽との出会いだけでなく、人の出会いも拓らいてくれるなんて……。2022年もさらに元気に出版に取り組み意欲を後押しして貰えた年の瀬だった。

(宙出版代表取締役)

年頭所感

矢野 正晃

あけましておめでとうございませう。クロスメディアでの雑誌ブランド展開を進めてきた「雑誌広告」業界ですが、この2年間のコロナ禍により雑誌WEBメディア・紙媒体・SNS・読者コミュニティなど、各メディアの強みが明確化しました。今年はその「強み」の価値拡大がテーマになるかと思えます。DX化の波を捉えながら、雑誌ブランドの持つ「強み」の各パラメータを精査し、データ化できるよう努力いたします。

(日本雑誌広告協会専務理事)